

全 員 協 議 会 記 録

令和元年12月18日(水)
13:19~14:55
全 員 協 議 会 室

〔出席議員〕

川神議長、佐々木副議長
三浦議員、沖田議員、西川議員、村武議員、川上議員、柳楽議員、串崎議員、
小川議員、野藤議員、上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、
芦谷議員、永見議員、道下議員、田畑議員、西田議員、澁谷議員、西村議員、
牛尾議員

〔執行部〕

市 長、副市長、金城自治区長、旭自治区長、弥栄自治区長、三隅自治区長、
教育長、総務部長、地域政策部長、健康福祉部長、市民生活部長、産業経済部長、
都市建設部長、金城支所長、旭支所長、弥栄支所長、三隅支所長、教育部長、消防長、
上下水道部長、(広域行政組合事務局長)

〔事務局〕 局長、次長、議事係長

議 題

1 執行部報告事項

- | | |
|-------------------------------------|---------|
| (1) 中期財政計画及び見直し | 【総務部】 |
| (2) JR浜田駅「みどりの窓口」の廃止等について | 【地域政策部】 |
| (3) 浜田市国民健康保険診療所の診療体制について | 【健康福祉部】 |
| (4) 石見食品株式会社の工場新設について | 【産業経済部】 |
| (5) 浜田漁港周辺エリア活性化計画(案)のパブリックコメントについて | 【産業経済部】 |
| (6) 少人数学級編制の見直しに伴う影響について | 【教育委員会】 |
| (7) 東京2020オリンピック聖火リレーのルート公表について | 【教育委員会】 |
| (8) その他
(配布物) | |
| ○浜田港四季のお魚カレンダー(議員のみ配布) | 【産業経済部】 |

2 陳情審査結果について

3 その他

- (1) 議案における各自の採決結果の記載について(配付・記入・提出)
- (2) 令和2年市民新年賀会会員券について
- (3) その他

【詳細は会議録のとおり】

【会議録】

[13時 19分 開議]

川神議長

ただいまから令和元年12月18日の全員協議会を始めたいと思います。
議題に入ります。

1 執行部報告事項

(1) 中期財政計画及び見通し

川神議長

総務部長。

総務部長

(以下、資料をもとに説明)

川神議長

ただいまの報告について質疑等ありますか。

川上議員

主要事業の17、18ページ、この中に下水や水道が入っていませんが、どこに掲げているのですか。

総務部長

繰出金で先ほど5億3千万円と言いました。ここは一般会計の主要事業しか載せておりませんので、下水道事業は企業会計で別になっていますので、ここには載せていません。

川神議長

それ以外にありますか。

(「なし」という声あり)

(2) JR浜田駅「みどりの窓口」の廃止等について

川神議長

地域政策部長。

地域政策部長

(以下、資料をもとに説明)

川神議長

ただいまの報告について質疑等ありますか。

小川議員

これは2つの委員会では報告されていましたが、JRからすれば恐らく経営方針の中でそういう機械を置くことによって、ゆくゆくは駅係員を廃止していくのが前提になっているだろうと思います。その経営方針はありますが、浜田駅の場合は私の記憶では10年前に医療センターが開設された時に橋上化駅として誕生したわけですが、あの時おそらく浜田市からはその工事費のほとんど、20億円くらいの負担をしてJR側は地下道を埋めるための1800万円程度を負担した格好。病院と駅が一体となったような形で今の姿ができたわけですが、あのエスカレーターやエレベーターを含めてバリアフリー化対策等も全て浜田市が財政負担をして作っているという意味では、病院と接続した駅として他の駅にはない特徴があると思います。高齢者の方や障がい者の方にも優しい駅というイメージがあると思いますが、それをただ会社の方針として機械を置くことでみどりの窓口を廃止しますという説明だけで、はい分かりましたと言うわけにはいかないのではないかと思います。大きな問題ではないかと思っています。おそらく浜田駅はみどりの窓口が廃止されることになると、この石見部ではみどりの窓口が全くなくなる可能性もあるのではないかと思います。聞いた話によると今年度中には益田駅が導入されるそうです。当面は係員が説明のために対応するが、おそらく将来的にはいなくなるという場合、経費をそれだけ出した駅だということ、それと石見に最低1つくらい窓口を置くべきではないかということは、こちらからきちんと訴えるべきではないかと思うのですが、それについてはどうでしょうか。この件については現在JRさんも、最終的に決定したものではないがと

地域政策部長

ということで、JRで改めて最終決定された時には自ら公表されたいと伺っています。ただ、現時点でこのような計画で進んでいるとのことですので、当市は特に高齢者がお困りの状況もありますので、これについて特段の配慮をお願いしたいという申し入れは行っています。ただ、みどりの窓口を残せるかどうかは、公共交通はやはり利用者がいて、その上で民間事業者の方もある程度判断される部分も多かろうという思いもありますので、改めてこの辺りは経営の関係と、浜田市としてのこれまでの関わり方も含めて、改めて声を伝えていく必要があると思っています。

小川議員

是非ともお願いします。みどりの窓口がなくなることによっていろいろな弊害が出ることは明らかです。例えば今小中高校生を含めて部活や修学旅行、遠足といった時、JRを使う場合には団体乗車券というのが購入できます。これは窓口でないと買えません。それをすると学生は運賃が半額になります。それだけ大きいのですが、みどりの窓口がなくなった自治体では、みどりの窓口がある隣の自治体やさらに遠い駅まで切符を買いにいかなければならない事情も出てきます。石見の窓口が全部なくなるとすれば、学校行事で団体乗車券を買うのにわざわざ松江や米子まで買いに行くというのは現実的に無理です。ですからそういう乗車券は売れない。サービス低下になることがすごく懸念されます。

我々が視察等でJRを使う時には、エージェントの方に切符をお願いしたりしますが、エージェントの切符というのもみどりの窓口があるからこそ扱えるわけですが、みどりの窓口がなくなるという前提になると、エージェントの方々に対しても今後はJRは扱わないということになって、地域経済にかなり影響が出る可能性もあると思います。

そういった諸々の問題というのがあるもので。そういった問題をできるだけJRに問いただしてもらって、こういう事例はどう対応するのかということも含めて、エージェントの方々の要望や学校現場の予算の扱いも含めて、きちんと見ておく必要があるのではと思います。

JRは全社的にやっていますし、この話が出てから私も広島県側の山陽線筋の駅に聞いても、1日の乗車人員が4千人を超える大きな駅であったとしても、無人化の方向が出されてきてその方向に向けて今進めようとしているという自治体からの案をよく聞いています。そういう意味では九州も無人化に向けた動きがすごく進んでいます。やはり駅に係員がないのは、障害をお持ちの方や高齢の方にとって優しい駅ではなくなるし、サービス低下が明らかだと思われ、特に分割民営化以降でその辺が顕著となっています。あの当時、分割民営化をするがお客様のサービスは低下しない、あるいは全国の路線は守るといったけども30年経った今どうかと言えば、こういう無人化も進むし、みどりの窓口すらも自治体からなくなりそうになったということを含めると、自治体からも社会的責任として、私企業と言えどもJRは国鉄の財産をそのまま移行した会社ですので、その辺は自治体としても意見を上げていくべきだと思いますので、是非お願いします。それについてももしご意見があればお願いします。

地域政策部長

まずみどりの窓口がなくなった時に具体的にどのような影響が出るかといった細かな事、例えば先ほど出された団体乗車券の購入等、細かな所までは承知してない状況ですので、改めてそのようなことも踏まえてJ

Rとは話をしていきたいと思っています。

今現在、駅自体が無人数になるという話のほうがありません。みどりの窓口については発券機プラスに変わってきますが、人はまだいるという情報しかいただいておりません。たゞいずれにしても多くの皆さんが使われる駅には間違いありませんので、公共交通の維持という視点からも細かな情報収集に努めて、しっかり協議していきたいと思っています。

小川議員

駅廃止で言えば三江線が去年3月末でなくなりましたが、それによって基地の機能を縮小せざるを得ません。駅も管轄が大田から益田までありますが、ここにみどりの券売機がなくなってくると業務が縮小になります。すると浜田の鉄道部の存続が今後どうなるかということも危ぶまれるとなると、雇用の場も地域から少なくなっていくことが懸念されますので、これについても併せて注視していただきたいと思っています。

牛尾議員

この件については先般、観光協会理事会で意見が出まして、議会は何もしないのかと突然言われて。私はこの件を存じ上げなかったもので、どういことでしょうかと言ったら、同僚議員が言われたとおりです。会長、役員、多くの方が、是非議会も商工会議所、商工会、市当局と一緒に反対運動位してくれと。しかし部長のお話を聞いていると、JRに言われたことをそのまま崩し的に受け止めざるを得ないような印象がある答弁のようで非常に心配しています。益田は既に来年3月にそうなるのでアクションしない。このままで行くと浜田の予定は来年10月だという話も聞きました。何もしないでみどりの窓口がなくなるのを看過できないと思います。同僚議員が言ったように、あの橋上化駅を作る時に浜田市は17億円かけていますが、JRはわずか1700万円ですよ。浜田市さんはやるなら勝手にやりなさいという荒っぽい言い方だったように聞いています。

先ほど言われたように国の財産をそのまま引き継いで公共交通として成り立っているのであれば、もう少し地元の意向を考えてもらうようなことを言わなければいけないのではないかと。市長、議会、商工関係が一緒になってとりあえずNOと言うべきだと思いますが、市長いかがでしょうか。

久保田市長

牛尾議員からも小川議員からもご意見いただきました。私もこの話を伺った時、みどりの窓口を残して欲しいという思いは当然持っていました。先般もJR西日本に要望書を出すべく指示し、担当課長にも米子まで行ってもらった経緯があります。ただ反対運動にするのかどうか、あるいはみどりの窓口になったことによる弊害がありますので、ここはこうして欲しいという話をするのかは、考えていきたいと思っています。単純に反対反対と言うのが、先週JRさんから説明に来られた時には、全社的な大きな方針の中でやっておられるものだから、反対運動という格好で持っていくのが良いのか、あるいはここはこうして欲しいという形なのか、この辺については考えさせていただきたいと思っています。

川神議長

その他ございますか。

(「なし」という声あり)

(3) 浜田市国民健康保険診療所の診療体制について

川神議長

健康福祉部長。

健康福祉部長
川神議長
川上議員

(以下、資料をもとに説明)

ただいまの報告について質疑等ありますか。

診療体制の変更については先般の福祉環境委員会で報告されました。内容については皆さま既にご存知ですが、旭診療所の先生が3月末をもって退職されます。それによって診療時間が変更になったものです。

小国診療所は週2回各30分が、週1回30分に変更になります。今回の報告で初めて地域の皆さまが知るところとなりました。

先ほどの説明では十数名おられたそうですが、実質的にはこの診療に関わる方々は今回の報告で初めて知ったことになっています。受診される方が少ないことをもって影響が少ないから回数減となったように思われます。1回30分が決して多い時間ではないことは皆さん理解できるものと思っています。医師の減少によるやむを得ない対応とはいえ、2分の1となったことは住民の皆さんに衝撃を与えたように思います。このままいけば近いうちにゼロになるのではないかという不安感を、住民の皆さまに抱かせることは避けねばなりません。そしてこのような配置転換をせざるを得なくなったのは、浜田市国保診療所連合体の機能が低下しているのではないのでしょうか。

執行部にお聞きします。浜田市国保診療所連合体はいつお話をされま

すか。会議の場を持たれているかどうかお聞かせください。

健康福祉部長
川上議員

浜田市国保診療所連合体の先生方は毎月月末に集まって、診療所の体制を含めいろいろな話をしています。

先日おうかがいしたら、レジュメはあるがその中の話し合い結果の記録はないということでした。この話し合いの中に執行部の方が参加されているかどうか。特に本庁、旭、金城から参加しているかをお聞かせください。

健康福祉部長
川上議員

現在は、健康医療対策課長と係長は必ず出席しています。金城支所、旭支所からの出席はございません。

本庁の方は出席されているようですが、今回先生が退職されることは事前に予兆があったと思います。これについてとらえることができたかお答えください。

健康福祉部長
川上議員

予兆ということですが、特に辞められるようなことを感じたことはございません。

先生が突然辞められたということで済ませてしまうわけにいかないと思います。やはりそれなりの理由があったはずです。もしかしたら人事のことかもしれないし、人間関係かもしれないし、自分の配置のことかもしれない。そのことが連合体で話し合われた上で、特に執行部の皆さんはこのことをしっかりとらえて早めの対策を取るべきだったと思います。

予兆は分からなかった、で置くのはいかがなものかと。知らなかった、突然出てきたからこうします。それは非常にまずいことだと思います。

この度のこのような状況が発生したことから、金城、波佐、小国地区は地域医療を考える組織を模索され、来年早々には立ち上げるように伺っています。この組織は自治会、診療所医師、看護師等、地域の皆さんに寄り添い、診療所を核とした組織を考えておられるようです。私も一員としてのお話をいただいていますので、是非参加して地域医療の充実

に助成したいと思っています。本庁の皆さま、各支所の皆さま、地域の皆様のご希望に沿えるようしっかり対応していただきたいと思っています。特に、予兆がなかったからではなく予兆をとらまえるのが必要だと思います。よろしくお願いします。

川神議長

その他ございますか。

(「なし」という声あり)

(4) 石見食品株式会社の工場新設について

(5) 浜田漁港周辺エリア活性化計画(案)のパブリックコメントについて

川神議長

2件一括で説明を受けたいと思います。産業経済部長。

産業経済部長

(以下、資料をもとに説明)

川神議長

(4)について質疑等ありますか。

(「なし」という声あり)

(5)について質疑等ありますか。

澁谷議員

素朴に考えて浜田市のアドバンテージは、特定第三種漁港を持っていることで、重要港湾浜田港という、2つの商港機能。こういう自治体は全国でもそうないわけで、そのアドバンテージを加味した港の活性化でないと、1+1が3や4にはなりませんよね。その辺はどなっていますか。

産業経済部長

浜田の特性については十分現状も説明して、検討委員会で検討していただいていますので、そういったことを加味した上での検討結果だと思います。

澁谷議員

加味したというのは、インバウンドというお話もあるシクルーズ船のお話もありますよね、釜山港からの貿易船の定期便の問題もある。加味したというのはどういう加味の仕方ですか、便利な言葉だけど具体的にどのように理解すればよろしいのでしょうか。

産業経済部長

私は議員さんの発言をオウム返ししただけですが、当然現状を説明した上で、周辺エリアの体系を作っていただいています。そういった中で周辺エリア、浜田漁港だけでなく浜田港と一体となった取り組みについても記載してありますので、その辺のことは十分委員さんも分かった上で、この計画をまとめていただいていると思っています。

川神議長

その他ございますか。

(「なし」という声あり)

(6) 少人数学級編制の見直しに伴う影響について

(7) 東京2020オリンピック聖火リレーのルート公表について

川神議長

2件一括で説明を受けたいと思います。教育部長。

教育部長

(以下、資料をもとに説明)

川神議長

(6)について質疑等ありますか。

澁谷議員

30人学級が変更になるというこの話を聞いただけで、いかに今の島根県知事の政治センスのなさというか、もう驚くべきものだと思います。今でも各学校に1クラスは学級崩壊しています。それがこのような形になった場合、今はどうにかこうにか31人の学校は2クラスになります。15、16人でどうにかこうにか一人の先生で対応している状況なのだけど、これからは34人くらいまで1クラスで対応しなければいけないわけですよ。現実問題として対応できるはずがないだろうと。今でもそうい

う状態なのに。この現実を全然理解されていないというか。そこに対してきちんとした声が出ていないというか。新聞報道を見ると久保田市長はどちらかというと島根県知事の話をも容認されたようなコメントになっていたように思いますが、これは浜田市、浜田市教育委員会が一体となって島根県に対応要請しないと、今でも学力は県下最下位のレベルなのに、ますます最下位でしょう。学力以前の問題で、学級崩壊だらけになるでしょう。その説明を聞いて、はいそうですかとは言えないですよ。どのように教員不足に対応して、教育長は来年度6人ほど支援員を増やすというお話だが、学校現場の状況を全然理解されていない。教育部長はどのように対応されるおつもりですか。

教育部長

おっしゃるように学校現場が困ることは当然想像できます。現状でも支援の必要な子供達が年々増加している状況です。そういった意味でいろいろな支援をお願いしている中で、クラスが減るとということは1クラスあたりの児童生徒数が増えることから、先生の負担も増えることは現場としては当然理解しています。ただ、教育委員会としては県内含めて現行制度の維持という要望はさせていただいています。県も一応、いろいろな所で意見を聞いた上で方向性を、とは言っておられますので、どんどん要望していくしかないと思っています。また、保護者も今署名活動をされているとのことですので、そういったものが集まり次第、県のPTAの方でも要求されるものと思っています。

澁谷議員

説明資料ではこの2年間に11学級、2クラスが1クラスになると。11学級減るということは、学年で2クラスの学校というのがどのくらいあって、そのうちの11クラスなのかお尋ねします。

教育部長

11学級と言われましたが段階的に減りますので、令和3年度で4クラス、それも含めて4年度で8ということですので、最大8が減少ということでご理解ください。

澁谷議員

今言われた2クラスが、というのは今手元に具体的な数字を持っていませんので申し訳ございません。

各学校の状況が何クラスかくらいは頭に入れておかないといけないでしょう。教育部長たるもの。現状を理解するために。後程ご報告ください。

久保田市長

昨日の新聞ですが市長会の発言が出ていました。新聞には短い言葉でしか比較表がなかったので、その時のお話を私からもさせていただきたいと思います。

当然ながら少人数学級というのは教育現場に与える影響が大きいと認識しています。県各地の教育委員会の皆さん、基本的には存続して欲しいという考え方を持っておられる中で、首長の意見はどうかということでご急遽昨日、市長会が呼び掛けられました。

新聞には短い言葉しかなかったのですが、当時のお話と私が発言したことをもう少し詳しくお話させていただければと思います。

冒頭に知事から、なぜこういった提案をしたのかというお話がありました。特に知事は、最大の課題は人口減少だと掲げておられて、島根県はいろいろな課題があるけどその中で一番やらないといけないのは人口減少だということで、様々な人口減少対策をやっておられるところですが、どこかで財源を捻出しなければいけない。苦渋の選択で少人数学級

ということも併せて打ち出された、そんな説明がございました。

各首長にも意見が求められたのですが私から申し上げたのは、まずもって少人数学級については本県で定着している制度である。また他の多くの県においても実施されており、教職員や保護者からの評価も高い。見直しとなれば生徒への指導や教員の負担等、教育現場への影響も大きい。まずこれを指摘させていただいています。その上で、一方、知事が言っておられる人口減少対策の中で、子ども医療費の助成充実、あるいは放課後児童クラブの充実が島根県全体の子育て施策の底上げにつながるものであり必要な施策であると考えている。

こういったことを申し上げた上で、少人数学級は心配はあるものの、一方では最優先課題である人口減少対策も推進する必要がある。従って総合的に考えて少人数学級の見直しは賛成ではないがやむなし、ただし教育現場への影響を最小限にするために、教員の加配等の影響緩和策については、地域の事情を考慮した制度設計としていただきたい。併せて教職員の負担軽減、働き方改革の推進をお願いしたい。このように申し上げました。

新聞には賛成派市長と出ていましたが、このように申し上げさせていただいたところでは、それぞれの市長さん、結構長めの発言がありまして、決して新聞に出ているだけの短いフレーズではなく、それぞれたくさんの方の言葉を言われました。その後町村会の意見も聞いてみると、そういったことを踏まえながら最終的にはもう一度どうされるかは知事のお考えですが、ご検討されるのだろうなどは思っています。

澁谷議員

私は是非、教育長は当然ながら市長にも、今の学校現場の状況を見ていただきたい。今この時間に小学校に行ってみてください。階段に1、2人、何をしているか分からないような子供さんがいるのです。クラスにいられない子供が。先生はその子供も世話しないとイケないし、クラスの子供も世話しないとイケないのです。こちらの生徒さんに対応すると、この十数名に対応できない、十数名に対応すると数名の生徒さんに対応できない、そういう状況なのです。是非現実の姿を確認していただきながら意見を出していただきたいのです。校長先生はそのようなこと言いませんから。自分の学校は教育経営に怠りはないということを経験会で言われると思います。でも実際を見ていただかないと、教育現場の現実の大変さは分からないですよ。よろしくお願いします。

三浦議員

市長にもう少しお話を伺えたらと思うのですが、新聞報道に「影響を最小限にするための教員の加配負担軽減等の推進をお願いしたい」と、先ほどもご説明ありましたが、今回の件でいわゆる少人数学級の財政負担がいろいろなことで大きいのでここを削るといふ話だと思います。加配やこうしたサポートをお願いしたいというのは、これも予算措置でありその部分に大きな予算措置ができないのでそこを削って別の所に付けますよと。やむを得ないけどこれをお願いするというのは、結局財政措置をお願いしていることなので付かないのではないかと思います。私個人的にはこの知事のお考えは、少人数学級制度の維持と放課後児童クラブの支援拡大並びに子ども医療費の助成対象というのは違う話だと思っていて、比べるものではないと。こちらの予算を削ってこちらに充てるから良いのだという話ではないと私は思います。

市長もやむなしということを仰っていましたが、教育委員会からの少人数学級制度の維持についてはいろいろな影響があるので存続を求めていくという説明が、先般の委員会でありました。この紙の中に、教育の質の低下を招くとはっきり書かれています。つまり教育委員会としてはこの制度がなくなることによって、教育の質の低下が起こると。やむなしという市長のお考えは理解する部分もありますが、この教育の質の担保ができない、質の低下が起こるというメッセージについて、市長はどのように浜田市における教育の質の担保をしていくとお考えなのか。説明の補足で結構ですので、お伺いできたらと思います。

久保田市長

今回の少人数学級を浜田市に置き直すと、小学校で7クラス、中学校で1クラス、合わせて8クラス教室が減ります。その分減った所には1クラスの生徒数が増える。先生の負担も大きくなりますし、教育の質の低下も当然想像に難くないお話です。先ほど言いましたが、知事さんからすると一方では何とか人口減少に取り組みたい、その財源の1つとしてこれを充てられたわけです。その考え方については私はコメント致しませんが、少なくとも小1の教育の質低下につながるということは、私もそのように感じています。それがつながらないように加配であるとか等々の措置を講じて欲しい。当然予算を伴うものと私は想像しています。あくまでも意見です。最終的に予算がどう配分されるか県でお考えになると思います。当然加配等をすれば新たな財源をそちらに充てることにはなるだろうと思います。そういうことを踏まえながら意見を申しあげたところで

もう1つ、教職員の負担軽減、働き方改革についてはご意見を言う首長さんはいらっしゃらず私だけだったようですが、教育現場の先生の負担が大きくなっているのは認識している所です。そういう意味では今回の話、教育現場の負担軽減というある種その方向性が違うところもあるので、働き方改革、負担軽減、これも取り組んでいただきたいと要望をさせていただきました。

三浦議員

県がこのような判断をした後に、市の教育委員会の見解としては教育の質が低下すると。県が判断した以降、市はどのようにこの浜田市における教育の質の担保をされていくのでしょうか。県がその判断をしたらもう何もできないということですか。

久保田市長

今回はまず、こういう案を考えているけど首長さんの意見はどうかということ、意見を求められました。すぐ来年度からするという話ではないと思っています。知事も皆さんの意見を聞いて考えるということですので、最終的な案がどうなるかは今の所何とも言えません。ただ、もしこの通りになった時はどうなのかについては、教育長から答弁させていただきます。

教育長

県が考えている加配についてお話したいと思います。実はこの少人数編成学級によって県内では約200人の先生が配置されています。それを制度の改正で半分の100人にするというのが、お手元の話です。しかしながら原井小学校のように一度に4クラスへといった学校も県内には多数あります。そういった所へ対する激変緩和と言うか、そういった手当をしなくてはいけないということで、新たに40人の教員配置をしたいというのを県の素案として考えておられます。実質的に40人加配されたら、100人

減ると言っても本当に減るのは60人となります。その60人の部分がいわゆる3億円で、これを子育てに回したいといったことを県では考えておられるようです。

浜田市としては来週、私と県の教育長さんで1時間ほど話をする機会があるのですが、その中で浜田市の現状、想いは教育委員会として十分にお伝えしようと思っておりますが、そういった40人の加配について出雲松江に集中するのではなく、全県下の実情をよく聞いていただき、その中で公平な配分をしていただくことは、当然お願いしていこうと思っておりますし、市単独の対策としては澁谷議員の話の中にありましたが、来年度、学校支援員を増員する予定にしておりますが、そこをもう少し膨らませることができないか、その辺は再検討していきたいと思っております。

仮にされるとしたらなるべく学校現場で影響の少ないように、対応を十分に検討していきたいと思っております。令和3年度からの実施とのことです。もう少し時間があるので何とかその辺の詰めは十分に行っていければと思っております。

三浦議員

現行制度を強く維持していただくように、市からもお願いをしていただくようお願いいたします。

澁谷議員

今の教育長の説明に言葉のマジックがあると思います。200人を100人にして加配で40人増やすとか。でもそれは今の学校現場にきちんと教員が足りていればの話です。浜田市は各学校で1、2人足りませんよね。先生が。それを考えても浜田市は四、五十人足りないのです。それが、なおかつ減る感じ。教育長の答弁にはレトリックがあるでしょう。教育長は今の学校現場で教員が不足しているのをどのくらいだと思っておられるのですか。お尋ねします。

教育長

学校の先生の数については教員定数があるので、それに基いた配置がされています。しかしながら現在の学校現場ではご指摘がありましたようにいろいろ支援の必要な生徒がおります。授業中にクラスを出ていってふらふらする子ども中にはいます。そういった者の対応をするために学校支援員を配置しており、配置については学校の希望を聞く中で可能な限り近い配置を行っています。十分でないのは十分承知していますので、これからも学校支援員の活動については教育委員会としても一番大きな課題だと思っておりますので、これからも努力してまいりたいと思っております。

川上議員

60人減ったと言いますが、それぞれの学校においては近々、教頭が担任をしなければならないようなことになると私は聞いています。そうになると一層教員不足になると思っております。これを加配で補うのかどうするのか、明確にお答えください。

教育長

教員定数は先ほども言いましたように法律で決まっていますので、それに基いた配置です。確かに学校現場に足りないのは十分承知しております。議会答弁でもお話しておりますが、毎年国県に対して教員定数の見直し、教員の数を増やしてほしいといった要望、県には特に新規採用職員に対する人数も増やして欲しいといった要望を重ねてきているところです。これについてもすぐに実現は難しいかもしれませんが、粘り強く要望を続けていく必要があろうかと考えています。

川上議員

少人数の学校においてはこのように教頭が出ていくと、より一層教員

が不足するのは目に見えています。そこには支援が一杯入ってくるのだと思いますが、手当をしっかりといただくのが大事だと思います。

それから先ほどから出ている少人数学級制ですが、私が得た情報では県知事さんは一歩も引く気がない、やると聞いています。なので先ほどからおっしゃっている、今後検討していきますということはありません。それだけ言っておきます。

笹田議員

先ほど市長の話では、教育の質の低下があってもやむを得ないという話もありましたが、教育長の話ではここに書いてあるところでは、浜田市教育委員会を始め他の県内市町村や教育委員会は、現行の少人数学級編成の継続を強く求めていますというところですが、教育長の話を見ると、もう駄目で松江・出雲でなくこちらにもきちんと加配してくれという話に聞こえたので。浜田市と浜田市教育委員会は別組織ですが、市長の考え方とは大体同じで、もうやむを得ないという考え方なのでしょうか。

教育長

この件については市長と何度も話しています。その中で今の教育委員会の思いと市長の思いに多少のずれがあるのは承知しています。各教育委員会、県内どこの市町村教育委員会もこの編成については、今の状況を検知して欲しいというのが教育委員会の立場だろうと思います。しかしながらそれは教育委員会の強い要望ですが、市全体、また県全体の政策を考えた時の判断は、教育委員会を超えたところで行われると思っていますので、そこについては私からコメントできるところではないと思っています。

笹田議員

私が危惧するのは浜田市や他自治体の教育委員会だけでなく、PTA等もこの体制が望ましいということで署名活動も始まっているわけですね。浜田市の小中学校の保護者さんが集まった時に、トップである市長や教育長がもうやむを得ないのだという話になった時に、保護者さんが集める意味があるのかと。浜田市はもう諦めているということになりはしないかと思って。書いてあるのを読めば、浜田市もやる気で少人数制の継続を求めていくのだと聞こえるのですが、今の教育長と市長の話を見ると、県が決めることなので決まった後の加配はどうかしてもらうのだ、みたいにしか聞こえなかったのです。そういった意味では今の保護者さんは継続して欲しいという気持ちが強いのと思うので、その辺りの説明が難しいのではないかと思います。

教育長

仮に県がそういったことをされるとすれば、ということで、加配等については浜田と市町村についても十分な配慮をお願いしたいといったつもりです。あくまでも教育委員会としては県の方針には賛成できかねると思っています。

川神議長

他にございませんか。

(「なし」という声あり)

(7)について質疑はありますか。

(「なし」という声あり)

(8) その他 (配布物)

○浜田港四季のお魚カレンダー（議員のみ配布）

川神議長

その他で執行部から報告事項がありますか。

（ 「ありません」という声あり ）

それでは議題1を終わります。執行部の皆さんはここで退席されて結構です。

《 執行部退席 》

2 陳情審査結果について

川神議長

総務文教委員会、福祉環境委員会、および議会運営委員会で審査された結果を報告書として配付しておりますので、ご確認をよろしくお願ひします。

3 その他

(1) 議案における各自の採決結果の記載について（配付・記入・提出）

(2) 令和2年市民新年賀会会員券について

(3) その他

川神議長

(1)、(2)について事務局から説明いたします。事務局長。

古森局長

（ 以下、資料をもとに説明 ）

川神議長

ただいまの3件について確認しておきたいことがありますか。

（ 「なし」という声あり ）

(3)のその他です。議員の皆さんから何かありますか。

西川議員

3月に開催されるマリン大橋リレーマラソンにまた出たいと思います。今度は開府400年記念事業ということで、またそのポロシャツを着て。3キロ生きてゴールできそうな人は是非参加していただきたいと思いますので、また私に声をかけていただくか、お声かけいたしますので是非参加して、浜田市議会のPRをしたいと思います。よろしくお願ひします。

川神議長

その他ございますか。

牛尾議員

知事の姿勢の問題ですが、議長にお願いしたいのは、県下8市議長会で招集してもらって。県議会には知事に意見を言う場があるけど、市議会としてはないので、県下8市議長会でこの議題を挙げていただき、緊急に議論していただいて、議長会として知事に申し上げるということをして是非やっていただきたいと思いますが、いかがですか。

川神議長

大変大きな問題であると思いますし、私がそういうことを言う立場ではなかったのですが、そもそも子育て、教育というのは、地域にとって最も大事な重要課題だと。その重要課題の片方を削って教育に持っていくのは言語道断だと個人的には思っています。それ以外の別のところからきちんとした財源を通すべきだろうと。なぜこういうことが起こるのかということは私も理解に苦しみます。市長と教育長のお話から少し弱腰な話がありましたが、議員から提案がありました議長会、他の議長の意見も聞きながら、そういうことが早急に可能であれば連携を取りながら場を設けられるか検討してまいりたいと思います。どのような形になるかはこの場ではっきり言えませんが、少し他の議長にお話させてもらおうかと思っていますので。それに関しては進展があればご報告させていただきます。よろしいですか。

(「はい」という声あり)

それ以外にございますか。

(「なし」という声あり)

1点、もうご存知だと思いますが、本日9時から市長と議長同席のもと、佐々岡新監督が表敬訪問をされました。市職員もお出迎えして、温かく迎えたところ所ですが、その後に市長からも監督就任のお祝いとさらには今後子供達へ何かできないか、アスリート育成等はどうだろうかということもありましたので。ファンはいろいろなチームがいらっしやると思いますが、お隣のまちの広島東洋カープに対してもまた、監督が地元出身ですので、そういう意味での応援をしてあげたら良いなと思っていますので、報告させていただきます。よろしくお願ひします。

他にないですか。

(「はい」という声あり)

では全員協議会を終わります。

[14時 55分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 川 神 裕 司